

週間感染症情報

2020年44-45週 2020年10月26日より2020年11月8日まで

44週 45週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	2	1
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	4	1
手足口病	1	
ヘルパンギーナ		4
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	24	16
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹		2
伝染性膿痂疹(とびひ)	4	3
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症		1
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

44-45週の報告です。感染症の報告は少なく、小児科外来は閑散としています。

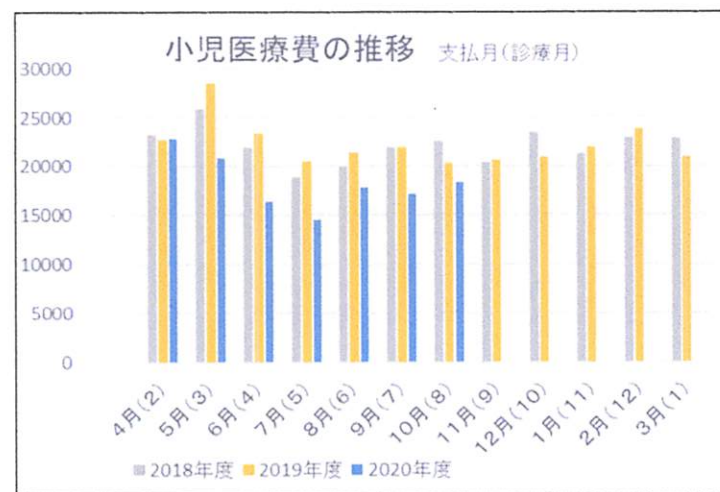
インフルエンザワクチン接種の時間帯は、密になり混雑していました。当院では、ワクチン在庫がなくなり、今後の入荷予定もはっきりしません。新型コロナウイルス感染症との同時流行が心配されており、接種希望者が増えて、ワクチンが不足しています。かかりつけの高齢者の方々への、接種がほぼ終了したのでほっとしています。

左下のグラフは感染症情報総報告数です。相変わらず、少ない状態が続いています。この時期に流行するRSウイルス感染症の報告はありません。右下のグラフは総社市の小児医療費の推移です。2018年4月より中学生が3割から1割負担となっており、対象人数は約1万人です。2020年2月末の休校措置や自粛により、インフルエンザの流行時期にもかかわらず5月から7月にかけて3割程度減少しています。

水痘は44週は市内小学2年生、4年生、在宅児(9か月)で、いずれもワクチン未接種でした。

溶連菌感染症は、市内保育園、小学校より散发例で報告がありました。

44週報告でカンピロバクター陽性例が2例ありました。嘔吐が主のウイルス性胃腸炎をみかけます。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)